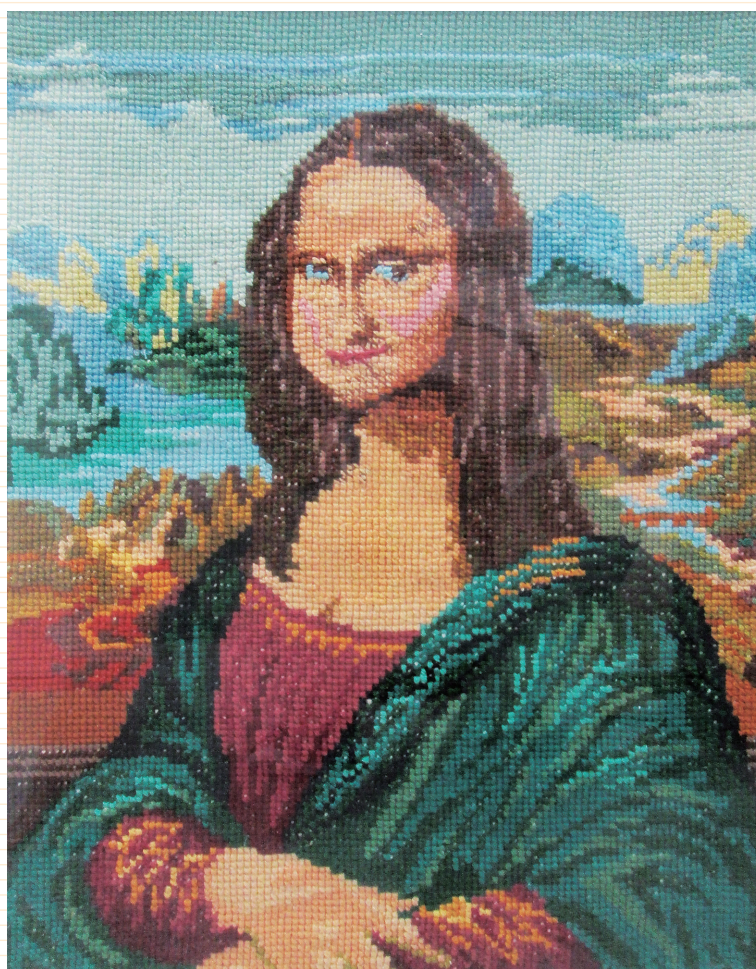




2019年秋
No.173

日本 リハビリテーション 病院・施設協会誌



特集 | 地域リハ塾活動報告 15

巻頭言 地域を見ること 天野純子	3
特集 地域リハ塾活動報告	
1. 「地域リハ塾」をはじめよう!! 平田好文	15
2. 地域リハ塾の概要 槌田義美	17
3. 地域リハ塾に参加して 及川真人	26
海外通信 デンマーク認知症プログラム視察研修に参加してーデンマークにおける認知症支援について 藤田雅章	29
REPORT	
令和元年度 第1回理事会議事録	4
令和元年度 定時総会議事録	8
令和元年度 第2回理事会議事録	10
第54回日本理学療法学会学術研修大会 in 徳島 2019を終えて 鴛 春夫	35
第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 (JARM2019)を終えて 道免和久	36
第20回日本言語聴覚学会 in おおいたを終えて 木村暢夫	37
第14回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in いがたを終えて 三村 健	38
第40回全国デイ・ケア研究大会 2019in 宮崎を終えて 石川智信	39
全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019を終えて 大串 幹	40
第13回日本介護支援専門員協会全国大会 in 四国を終えて 柴口里則	42
第53回日本作業療法学会を終えて 東登志夫	43
病院・施設紹介	
倉敷スイートホスピタル 江澤和彦	44
芳珠記念病院 仲井培雄	46
好日 第10回 薬とリハビリは車の両輪 平峯寿夫	48
潮流を読む 川本愛一郎	49
新刊紹介・書評	
『ユーモアを生きるー困難な状況に立ち向かう最高の処方箋』 評者：槌田義美	28
『続 パーキンソン病はこうすれば変わる!ー病気の理解とパーキンソン・ダンス』 評者：佐藤英雄	41
お知らせ 2019年度当協会主催/共催 学会・研修会	7
編集後記 斉藤秀之	52

Voice

ー表紙の言葉



澤田敦子 「モナリザ」

中学生の頃、長期入院の際に担任に勧められて刺繍の作品を作り始めました。
リハビリを受けてから、使えなかった左手も使えるようになり、今では細かな作業を通して自分でもリハビリを頑張っています!

巻 頭 言

地域を見ること。



天野純子

医療法人ハートフル 理事長

私は広島県廿日市市に住んでいます。3年前に串戸（くしど）という地域に転居してきました。その前は市内の陽光台という団地に住んでいましたが、子どもたちの通学の関係で駅に近い串戸に転居しました。廿日市市は広島県の西部に位置しており、世界遺産の宮島・厳島神社を有しています。推計総人口は11.49万人（推計人口、2019年6月1日）、人口密度は235人/km²（2019年6月1日現在）と、過密ではなく、大変住みやすい所です。気候は温暖で瀬戸内海や中国山地など自然が豊かで、厳島神社や極楽寺本殿などの世界遺産や重要文化財などの美しい建造物も豊富です。廿日市の牡蠣は全国的に有名ですし、穴子や小イワシなど美味しいものもたくさんあります。私は自分の住んでいる廿日市市を心より愛していますし、住んでいることに誇りを持っています。

さて、私たちはこの廿日市市にて、リハビリテーションとケアを提供する医療法人を運営しています。グループには120床（回復期病床91床、地域包括病床20床、医療療養型病床9床）の病院と、在宅支援クリニック、訪問看護ステーション、訪問リハ、通所リハセンター、重度認知症医療デイケア、居宅支援事業所、2つの有料老人ホームがあります。

また、障害をもつ方たちのためのデイケアや就業支援センター、障害児のための発達支援センターやデイケアなどの事業も展開しています。

私たちは「地域のために、地域とともに。」という理念のもとにどのような疾病であっても、どのような障害であっても、また0～100歳まで、あらゆるライフステージに対応してその人たちを地域で支えたい！と日々仕事に従事しています。地域リハこそが私たちの法人のコンセプトであります。

私は2019年4月から、この串戸地区町内会の会長を勤めることとなりました。町内会長としての

活動を通して、初めて真摯に「地域」と向き合うことができたように思います。

そして地域が抱える問題も見えてきました。少子化、高齢化、女性の社会進出に伴う子育ての難しさ…。さらに貧困の問題、町内会の行事への参加意欲の低下、町内会自体への信頼度や期待の低下、障害をもつ人たちの社会参加など課題は山積しています。

これから私たちが直面する「2040年問題」に向けて、地域での自助・互助を担う力をつけていかなければならないのに、地域の抱える課題はたくさんあります。

この現状を打開するためには「地域力」を上げていく必要があるのではないかと考えます。

今後、地域はこれらの課題の解決に取り組んでいかななくてはなりません。地域に存在している医療法人として、地域の一員として、共に課題解決に取り組んでいきたいと思えます。地域の祭やイベントにスタッフが参加する、または地域住民の方々が課題解決をしていくお手伝いなどもしていきたいと思えます。先日、神戸で行われた「全国地域リハビリテーション研究大会」でも、いくつかの地域の事例で、NPO法人と障害をもたれた方たちが自治会の人たちと一緒に活動している、また、運営しているカフェが地域の通いの場になっているなどの報告がありました。少子化による若い世代の減少もあり、障害をもつ方たちがどんどん地域社会に参加されている事例を見ると、心から素晴らしいと思えます。

当法人も障害をもつ方たちにかかわる事業を展開しています。障害をもつ方たちが一緒に参加して、地域の課題を解決できることができたら大変素晴らしいのではないのでしょうか。

皆が住みやすい地域づくりを目指して一緒に活動し、一人ひとりが地域社会に参加をすることを法人として支援したい！と心から思います。

※このページ以降の誌面をご覧ください。場合は、
当協会への入会が必要です。

ご入会のお手続きは下記へ



【入会について】

<https://www.rehakyoh.jp/join.html>